

質問者 高野晃

質問事項	質問の要旨
1 住民の不安に寄り添う 原発行政を	<p>昨年の12月26日に営業運転を再開した女川原発 2号機ですが、乾式貯蔵施設の進捗や機器の不具 合等の問題がプレスリリースされていますが、そ の中で疑問を抱いた点について伺います。</p> <p>(1) 5月26日及び6月20日に不具合が確認され た水素濃度検出器の案件について詳細を伺い ます。</p> <p>(2) 10月22日の定期点検中に手動での動作が不 能になった制御棒について原因と対策等を伺 います。</p> <p>(3) 7月29日に詳細設計に関わる「設計及び工 事計画認可申請書」について、準備が整い次 第、原子力規制委員会に提出としていました が、既に提出していますか。また、再処理工 場で処理できない燃料であった場合、乾式貯 蔵施設に使用済み燃料が貯蔵されたままにな ると懸念されますが、その場合の対応につい て伺います。</p> <p>(質問の相手：町長、担当課長)</p>

質問者 高野 晃

質問事項	質問の要旨
2 部活動地域移行（地域展開）の方向性は	<p>国から令和7年度までに休日の部活動を段階的に地域へ移行、令和8年度から6年間をかけて平日の部活動も地域に移行させる方針が示されており、県内各自治体でも取組が進められており、教員の負担軽減や地域スポーツ、文化活動の活性化、生徒の多様な学びの機会を保障する観点からも、地域移行は避けては通れない課題となっています。</p> <p>そこで、現在の課題認識と今後の方向性について伺います。</p> <p>(1) 部活動地域移行の概要を伺います。</p> <p>(2) 女川中学校における部活動地域移行の進捗状況と、部活動の地域移行を進めていくうえでの課題を伺います。</p> <p>(3) 来年度より改革実行期間とのことですが、今後の女川中学校の部活動地域移行に関する方向性とロードマップの作成は行いますか。</p> <p>(質問の相手：教育長、担当課長)</p>